

第74回岩手県高等学校総合体育大会フェンシング競技における 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

1. 基本的な方針

本大会は、教育活動の一環として実施するものであり、選手のみならずすべての大会関係者の安心・安全の確保は最優先事項である。

- (1) (公財) 全国高等学校体育連盟フェンシング専門部が示す全国高等学校体育連盟フェンシング専門部主管大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針「ー フェンシング競技における対応策 ー」【第3版】に沿って行う。
- (2) 大会出場にあたり、生徒本人と保護者の同意を得ることとし、参加を強制しない。
- (3) 大会当日の会場への入場は、選手・監督(引率責任者)・各校で認められているコーチ・大会役員・報道機関・出場校の関係者・各校フェンシング部員の保護者(2名まで)とし、何れも専門部が事前に把握した者のみ可とする。
- (4) 本ガイドラインの内容は、感染状況などによって変更する場合もある。

2. 参加者

(1) 全体的な事項

ア. 参加校は、健康チェックシートを大会2週間前から大会参加終了日までチェックし、大会参加期間中は毎日専門部へ提出すること。

イ. 引率責任者(顧問等)は、参加者が感染予防用マスクを準備しているか確認すること。なお、競技中の感染予防用マスクの着用は参加者等の判断によるもの(※)とするものの、参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間、特に会話する時には、感染予防用マスクを着用すること。

※ 感染予防用マスクを着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることに留意すること。

ウ. 安全・安心な大会運営のため、選手・監督等大会関係者は大会期間中のみならず、日頃から体調管理に十分留意すること。そのうえで、発熱等の体調不良があった場合には、速やかに医療機関による診断を仰ぐとともに、その状況についてチェックリスト等へ誠実に記載をすること。

エ. 参加校以外のすべての大会関係者(保護者含む)は、健康チェックシートを大会2週間前から大会終了日までチェックし、大会参加期間中は毎日提出する。また、該当項目がある場合には専門部に申し出ること。

オ. 参加者は、三つの密を避けること、会話時に感染予防用マスクを着用するなどの感染症対策に十分に配慮すること。

カ. 参加者はゴミを持ち帰ること。

(2) 選手

ア. 試合中の選手は、全種目マウスシールド又は感染予防用マスクの着用すること。

- イ. 選手は原則として競技中に発声してはいけない。
- ウ. 選手は決められた椅子に座り、試合中以外は感染予防用マスクを着用する。
- エ. 試合終了後の選手サインは、審判の指示に従い感染予防用マスクを着用し行う。
- オ. ピストに入場できるのは、そのピストで試合をする選手と監督・コーチのみとする。
- カ. 学校対抗戦において、試合中の応援については、感染予防用マスクの着用をすることで許可するが、チーム同士のハイタッチ・握手等の接触は行わない。 ※声を出しての応援は行わない
- キ. 試合終了後は、洗顔、手洗をするなど感染予防に努める。

(3) 観客

- ア. 観客席での応援のみとし、試合会場には入らないこと。
- イ. 観客席への入場は、必ず ID を必要とする。入場する際に ID を受け取り、帰る際に返却すること。
- ウ. 感染予防用マスクを着用し、他の応援者との会話は最小限とする。
- エ. 選手への拍手等の応援以外は行わない。
- オ. ソーシャルディスタンスを常に意識し、集団での応援は行わない。